

第63期

中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



お問い合わせ先

パラマウントベッド株式会社 広報・IR部
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL：(03) 3648-1111 (大代) FAX：(03) 3648-5781
<http://www.paramount.co.jp>



パラマウントベッド株式会社



証券コード：7960

(企業理念)

先進の技術と優しさで、 快適なヘルスケア環境を創造します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。
ここに当社第63期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の
事業の概況と決算をご報告いたします。



当第2四半期連結累計期間の業績は、
どのように評価されていますか。

売上高につきましては、期初予想（218億円）を上回り、前年同期比では12.7%増の243億円となりました。ユーザー別に売上を見ますと、在宅向けは予想通り新製品効果が一巡して前年同期を下回りましたが、施設向けは、医療施設、高齢者施設ともに前第3四半期からの好調を持続し、在宅向けの売上減をカバーし、全体の数字を押し上げました。また、連結子会社につきましては、各社おおむね計画通りに推移いたしました。

利益面では、営業利益、経常利益、四半期純利益がいずれも期初予想を上回りました。売上高の増加及び増産効果による生産効率の向上などが貢献いたしました。

なお、通期の業績予想に関しましては、上期実績を受けて10月26日に上方修正しております。



施設向けが好調とのことですが、
どのような状況でしょうか。

まず、医療施設向けの実績につきましては、売上高は前年同期比約30%増、ベッドの販売台数は同約25%増で推移しております。本年4月の診療報酬のプラス改定等により、医療施設の経営環境がおおむね好転したことなどから、過去4年間の買い控えの状況から一転し、ようやく病室のベッドに対する設備投資にも目を向けていただけるようになったということだと思います。

次に、高齢者施設向け実績は売上高が前年同期比約30%増、ベッド販売台数は同約40%増となりました。国は約42万人といわれている特別養護老人ホーム（以下、特養）の待機者の解消を図るため、平成21年度から3年間で16万床の介護施設（特養、介護老人保健施設、ケアハウス、グループホーム等）を整備する計画を進めております。これらの施設に加え、整備目標に含まれない有料老人ホームなども増加しておりますので、今後もベッドの需要は高いと考えております。



Statement:

As Human, for Human

To Our Shareholders



タイに現地法人を設立したとのことですが、
海外展開についてどのようにお考えですか。

海外展開は重要な経営課題の一つとして積極的に取り組んでまいりたいと考えております。当社グループには、インドネシア、中国、フランスにそれぞれ生産・販売子会社があります。そして、新たに11月にタイのバンコクに販売会社を設立いたしました。

海外において、今後、医療用ベッドのマーケット拡大が予想される地域として中国、アセアン諸国、中南米などが挙げられます。なかでもタイは、年間1万台に近い需要があり、アセアン諸国ではインドネシアと並ぶ大きな市場です。また、医療の高度化が進んでいることもあり、さらなる需要増が期待できます。現地に販売会社を設立することで、地域に根ざした営業活動を行い、確実に市場に浸透していきたいと考えております。今後は、パラマウントベッド・インドネシアにおいて同国の市場ニーズを反映させた新製品を開発し、投入していく計画です。

代表取締役社長

木村 恭介



● タイ現地法人設立

東南アジア販売を拡大

当社は11月、タイ・バンコクに当社製医療用ベッド・備品を販売する現地法人「PARAMOUNT BED (THAILAND) CO.,LTD. (パラマウントベッド・タイランド)」を設立しました。

今後、タイ国内の販売代理店網を整備し、代理店への営業支援を強化するとともに、医療機関への直接営業を行うことなどにより、タイ国内市場シェアの拡大を目指します。また、ベトナムなどの周辺諸国への販売を強化します。



- 本 社：Talomsin Building, 5th floor 924 Rama3
Road, Yannawa,
Bangkok 10120, Thailand
- 設 立：2010年11月
- 代 表 者：代表取締役 宮川 啓一

● グループ会社紹介

海外編

PT. PARAMOUNT BED INDONESIA

(パラマウントベッド・インドネシア)

アジアにおける生産・販売の拠点として1995年9月に設立しました。医療用ベッド等を生産・販売し、その販売先は、インドネシアや日本のほか、アジア及び中東の30カ国以上にわたります。地域密着型の営業活動により、現在では、インドネシア国内の医療用ベッドシェアNo.1にまで成長しました。



- 本 社：MM2100 Industrial Town, Block M-1-1,
Export Processing Zone,
Cikarang Barat, Bekasi 17520, Indonesia
- 設 立：1995年9月
- 売 上 高：10.3億円
- 代 表 者：代表取締役 中川 実
- 従業員数：189人（2010年3月末）

八樂夢床業(中国)有限公司

(パラマウントベッド・チャイナ)

中国市場の開拓を目的として、2004年3月、中国・江蘇省無錫市に現地法人「ハ楽夢床業（中国）有限公司」を設立しました。2005年4月から、医療用ベッド等を生産しています。中国国内はもちろんのこと、日本やヨーロッパ向け製品の生産も行っています。



- 本社：中華人民共和國江蘇省無錫市無錫國家高新技術產業開發區A-105
- 設立：2004年3月
- 売上高：12.9億円
- 代表者：總經理 田中 晃
- 従業員数：102人（2010年3月末）

Corona Medical S.A.S.

(コロナ・メディカル社)

ヨーロッパ市場進出への足がかりとして、2006年12月、フランスの老舗医療用ベッドメーカー「コロナ・メディカル社」を傘下に収めました。現在はパラマウントベッド・チャイナとの連携を強化して、生産効率の向上を図っています。



- 本 社：Z.I. de la Planche-37210
ROCHECORBON, France
- 設 立：1954年（2006年12月から当社傘下）
- 売 上 高：21.1億円
- 代 表 者：Jean Michel Le Bolloch
- 従業員数：110人（2010年3月末）

※各社の売上高は第62期年間売上高でグループ間の内部取引を含みます。

● 高齢者施設向けベッド 「カリスト エールシリーズ」を発売

高齢者施設向けベッド「カリスト エールシリーズ」を、9月1日に発売しました。

「カリスト エールシリーズ」は、2001年の発売開始以来31万台の販売実績をもつ高齢者施設向け電動ベッド「カリストシリーズ」の後継機種です。ベッド本体に内蔵されたセンサーによってご利用者の動作を検知するシステム「離床キャッチ」搭載機種を新たにラインアップしました。“起き上がり”、“離床”など、5種類の動作を検知できます。検知した動作はナースコールシステムを通じて通知します。ベッ



価格：477,750～687,750円（税込）

ドとサイドレールや介助バーとのすき間は、最新のJIS規格（JIS T9205：2009）に準拠し、挟み込み事故等のリスクがより低くなるよう設計されています。その他、メモリー機能など介護者の負担軽減を図るための多彩な特長を備えています。

● 歩行車 「ハンディウォーク」を発売

高齢者など、歩行に不安のある方の自力歩行動作を補助する歩行車「ハンディウォーク」を、8月2日に発売しました。

凸凹のある道路でも安定しやすい大径ワイドキャスターや、身長にあわせて5段階の高さ調節が可能なハンドル、段差を乗り越える際に便利な段差乗り越えバーなど、操作性に優れた機能を搭載しています。また、握りやすい大型のブレーキレバーや、フレームの前後左右6カ所にリフレクター（反射板）を設置するなど、安全性にも配慮しています。



価格：オープン価格

● 透析室向けベッド 「R'fone（アルフォーン）シリーズ」を発売

透析室向けベッド「R'fone（アルフォーン）シリーズ」を、9月1日に発売しました。

ラインアップは手動タイプから、電動タイプ、体重測定器付きタイプなど合計9種類。緊急時に一つのボタンで背さげ・膝あげを同時に行うことができる「ショック体位ボタン」を電動タイプに設けました。急激な血圧低下時などに、より迅速な対応をすることが可能です。その他、患者の足の攣（つ）りやむくみを軽減する「フットレスト」や、スタッフの作業効率を高める「ナースコントロールパネル」「記録



価格：231,000～1,680,000円（税込）

台」など、オプション類も充実しています。

近年、拡大傾向にある透析市場に向け、昨年8月に発売した透析・化学療法向けチェア「L'za（エルザ）」とともに、幅広いニーズに対応します。

ドバイに駐在員事務所を設置

当社製品を中東地域に向けて販売するための駐在員事務所を9月1日、アラブ首長国連邦（UAE）のドバイに開設しました。

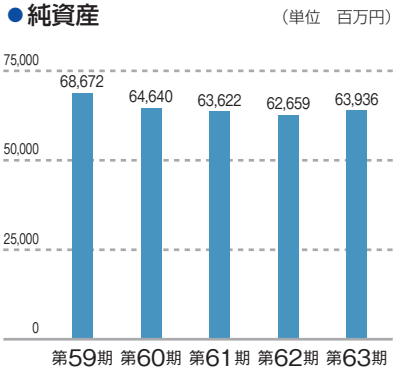
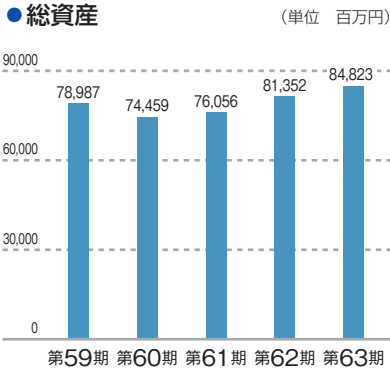
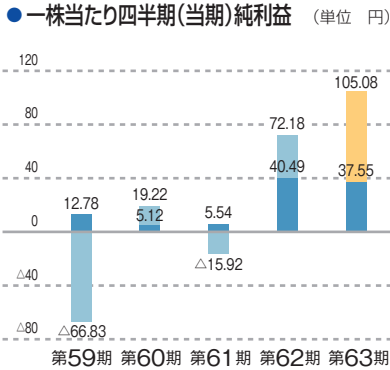
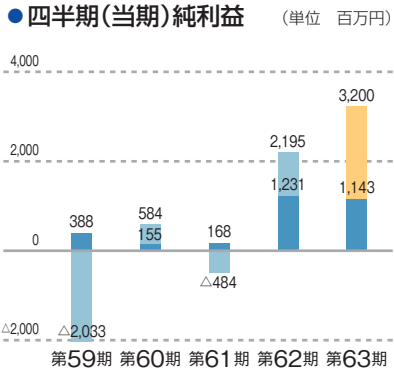
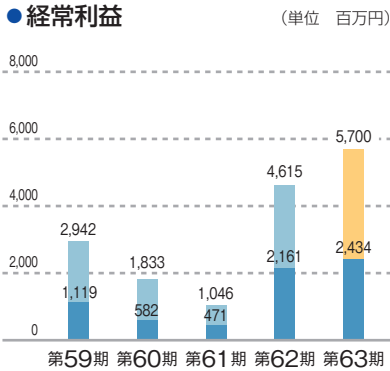
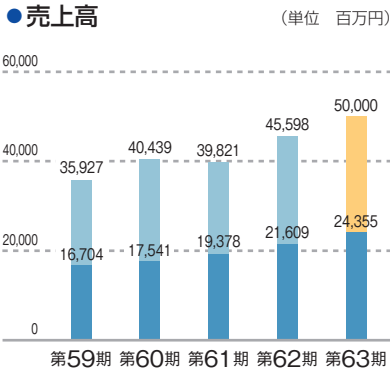
ドバイは、中東諸国やアフリカなどへのアクセスが良いため、これら新興国開拓への重要営業拠点になります。同事務所がカバーするエリアは、UAE、サウジアラビア、シリア、パキスタン、クウェート、イラン、トルコ、エジプトなどの国々です。これら地域における販売代理店のセールストレーニング、市場調査、現地病院への直接営業などを行うことにより中東地域の需要取り込みを強化します。



- 名 称：PARAMOUNT BED CO.,LTD Middle East Office
- 住 所：4WB, G38, P.O.Box293552, Dubai Airport Free Zone, Dubai, U.A.E.

Financial Highlights

科 目	期 別	(単位 百万円)				
		第59期 第2四半期連結累計 (平成18年9月30日)	第60期 第2四半期連結累計 (平成19年9月30日)	第61期 第2四半期連結累計 (平成20年9月30日)	第62期 第2四半期連結累計 (平成21年9月30日)	第63期 第2四半期連結累計 (平成22年9月30日)
売上高		16,704	17,541	19,378	21,609	24,355
経常利益		1,119	582	471	2,161	2,434
四半期純利益		388	155	168	1,231	1,143
一株当たり四半期純利益 (円)		12.78	5.12	5.54	40.49	37.55
総資産		78,987	74,459	76,056	81,352	84,823
純資産		68,672	64,640	63,622	62,659	63,936



■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期見込

Outline of Operating Results

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調で推移してまいりましたが、失業率が依然として高水準にあることに加え、円高の進展など、このところ環境の厳しさが増し、足踏み状態となっております。

当医療業界におきましては、医療の質の向上を目指して平成22年4月からの診療報酬が10年ぶりにプラス改定となりました。救急や産科、小児、外科医療などに財源を手厚くするほか、病院勤務医の負担軽減を目的として入院医療などについても報酬が引き上げられております。

高齢者福祉分野におきましては、都市型ケアハウスや高齢者向け賃貸住宅等の面積基準の引き下げや、特別養護老人ホームの相部屋の容認など、不足している高齢者向け介護施設の新規開設を促すための施策が打ち出されております。

このような国内の事業環境の中で施設向け販売は、医療施設・高齢者施設ともに好調で、大幅に売上を伸ばしております。在宅介護市場向け販売におきましても、新製品効果のあった前年同期には及ばないものの、引き続き順調に推移しております。

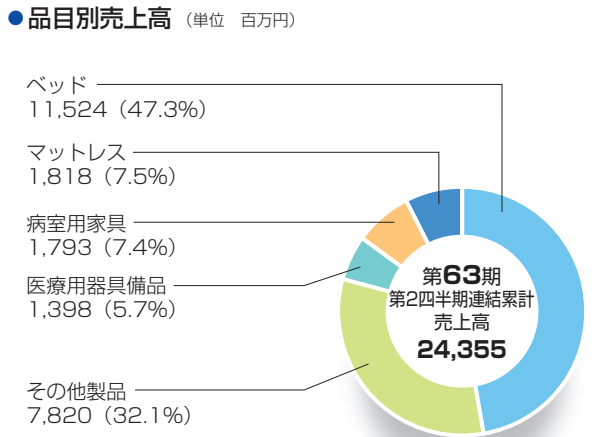
製品の開発・販売面におきましては、高機能床ずれ防止エアマットレス「ここちあ」、高齢者施設向けベッド「カリストエールシリーズ」、透析室向けベッド「R'fone

(アルフォーネ) シリーズ」などを発売いたしました。

連結子会社につきましては、各社おおむね予定通りに推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高243億55百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益28億88百万円（同35.5%増）、経常利益24億34百万円（同12.6%増）、四半期純利益11億43百万円（同7.2%減）となりました。

品目別売上高については、下記グラフのとおりです。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(单位 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
流動資産		40,594	47.9	42,743	49.9
現金及び預金		12,938		13,874	
受取手形及び売掛金		10,660		12,857	
有価証券		9,041		8,557	
たな卸資産		4,847		4,529	
その他		3,105		2,924	
固定資産		44,229	52.1	42,843	50.1
有形固定資産		27,324		26,542	
無形固定資産		2,400		2,644	
投資その他の資産		14,504		13,655	
資産合計		84,823	100.0	85,586	100.0
流動負債		12,124	14.3	13,745	16.1
買掛金		4,733		5,057	
その他		7,391		8,687	
固定負債		8,763	10.3	8,568	10.0
負債合計		20,887	24.6	22,313	26.1
株主資本		63,923	75.4	63,333	74.0
資本金		6,591	7.8	6,591	7.7
資本剰余金		7,276	8.6	7,276	8.5
利益剰余金		53,380	62.9	52,846	61.7
自己株式		△3,325	△3.9	△3,380	△3.9
評価・換算差額等		△180	△0.2	△220	△0.2
その他有価証券評価差額金		△202	△0.2	△119	△0.1
為替換算調整勘定		22	0.0	△100	△0.1
新株予約権		62	0.0	37	0.0
少数株主持分		130	0.2	121	0.1
純資産合計		63,936	75.4	63,272	73.9
負債純資産合計		84,823	100.0	85,586	100.0

POINT

受取手形及び売掛金

当社グループの業績には季節変動があり、毎年第4四半期の売上が最もウエイトが高くなる関係上、前期末時点の残高が大きくなっております。

POINT

有形固定資産

子会社サンネットワーク株式会社の
賃貸資産の増加もあり、有形固定資
産は、前期末に比べて増加いたしま
した。

POINT

利益剰余金

期末配当金の支払いに伴う減少があったものの、四半期純利益の計上により、利益剰余金は増加いたしました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(单位 百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)
		金 額	金 額
売上高		21,609	24,355
売上原価		12,883	14,006
売上総利益		8,726	10,348
販売費及び一般管理費		6,595	7,460
営業利益		2,131	2,888
営業外収益		250	156
営業外費用		220	610
経常利益		2,161	2,434
特別利益		2	12
特別損失		24	177
税金等調整前四半期純利益		2,139	2,269
法人税、住民税及び事業税		1,204	1,274
法人税等調整額		△335	△162
法人税等合計		869	1,112
少数株主損益調整前四半期純利益		—	1,156
少数株主利益		37	13
四半期純利益		1,231	1,143

1

POINT

高上壳

売上高は、前年同期比12.7%増の243億円となりました。ユーザー別に売上を見ますと、在宅向けは予想通り新製品効果が一巡して前年同期を下回りましたが、施設向けは医療施設、高齢者施設とともに前第3四半期からの好調を継続し、在宅向けの売上をカバーし、全体の数字を押し上げました。

2

POINT

売上総利益

売上高の増加及び増産効果による生産効率の向上もあり、売上高総利益率は、前年同期に比べ2.1ポイント上昇し、42.5%となりました。

3

POINT

經常利益

売上高経常利益率は、為替差損や投資事業組合出資金運用損といった営業外費用の増加もありましたが、前年同期とほぼ同じ10%で推移いたしました。

Consolidated Financial Statements

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)
1 営業活動によるキャッシュ・フロー		4,554	1,967
2 投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,558	△882
財務活動によるキャッシュ・フロー		△614	△709
現金及び現金同等物に係る換算差額		△66	215
現金及び現金同等物の増加額		1,316	591
現金及び現金同等物の期首残高		17,227	14,847
3 現金及び現金同等物の四半期末残高		18,543	15,438

POINT

1

営業活動による
キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払、リース債務の支払等の減少要因もありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少等の増加要因により、1,967百万円増加いたしました。

POINT

2

投資活動による
キャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資有価証券の取得、有形固定資産の取得等に伴う支出により、882百万円減少いたしました。

POINT

3

現金及び現金同等物の
四半期末残高

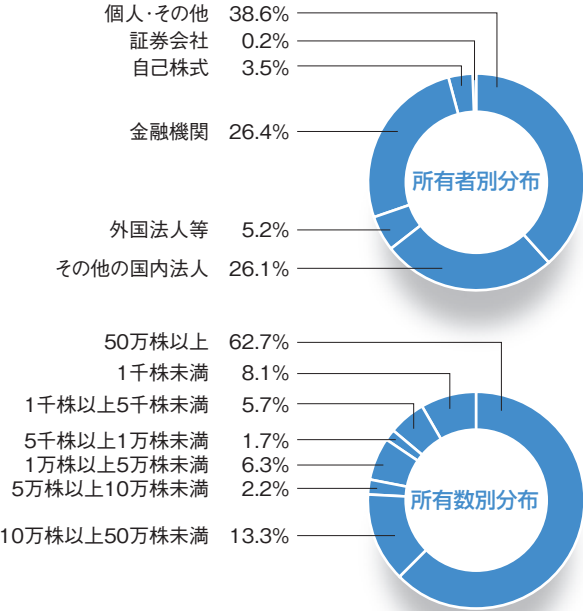
当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末から591百万円増加し、15,438百万円となりました。

- 発行可能株式総数 126,000,000株
- 発行済株式の総数 31,682,526株
- 株主数 14,544名
- 大株主

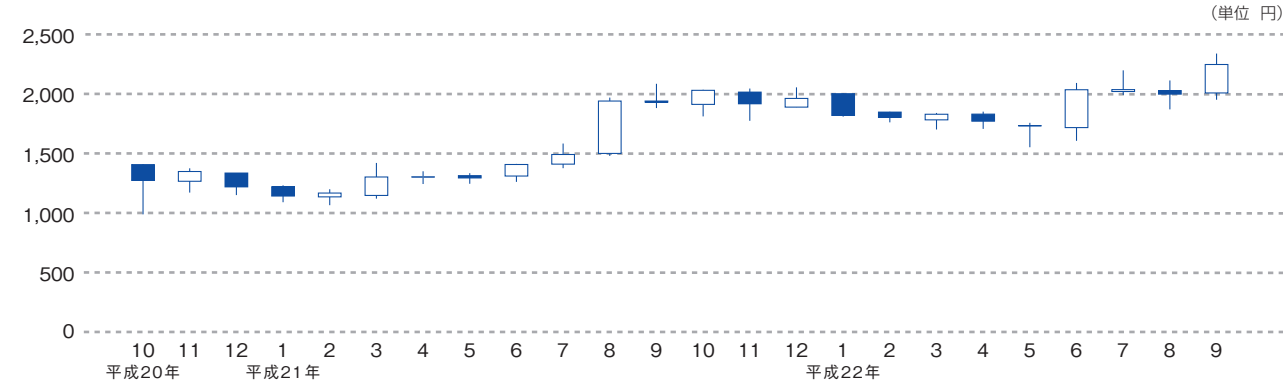
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
木村興産株式会社	6,607	21.7
木村憲司	2,758	9.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,156	7.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,581	5.2
木村恭介	1,536	5.0
木村通秀	1,418	4.7
株式会社みずほ銀行	1,203	4.0
野村信託銀行株式会社(投信口)	862	2.8
有限会社レッジウッド	600	2.0
財団法人木村看護教育振興財団	424	1.4

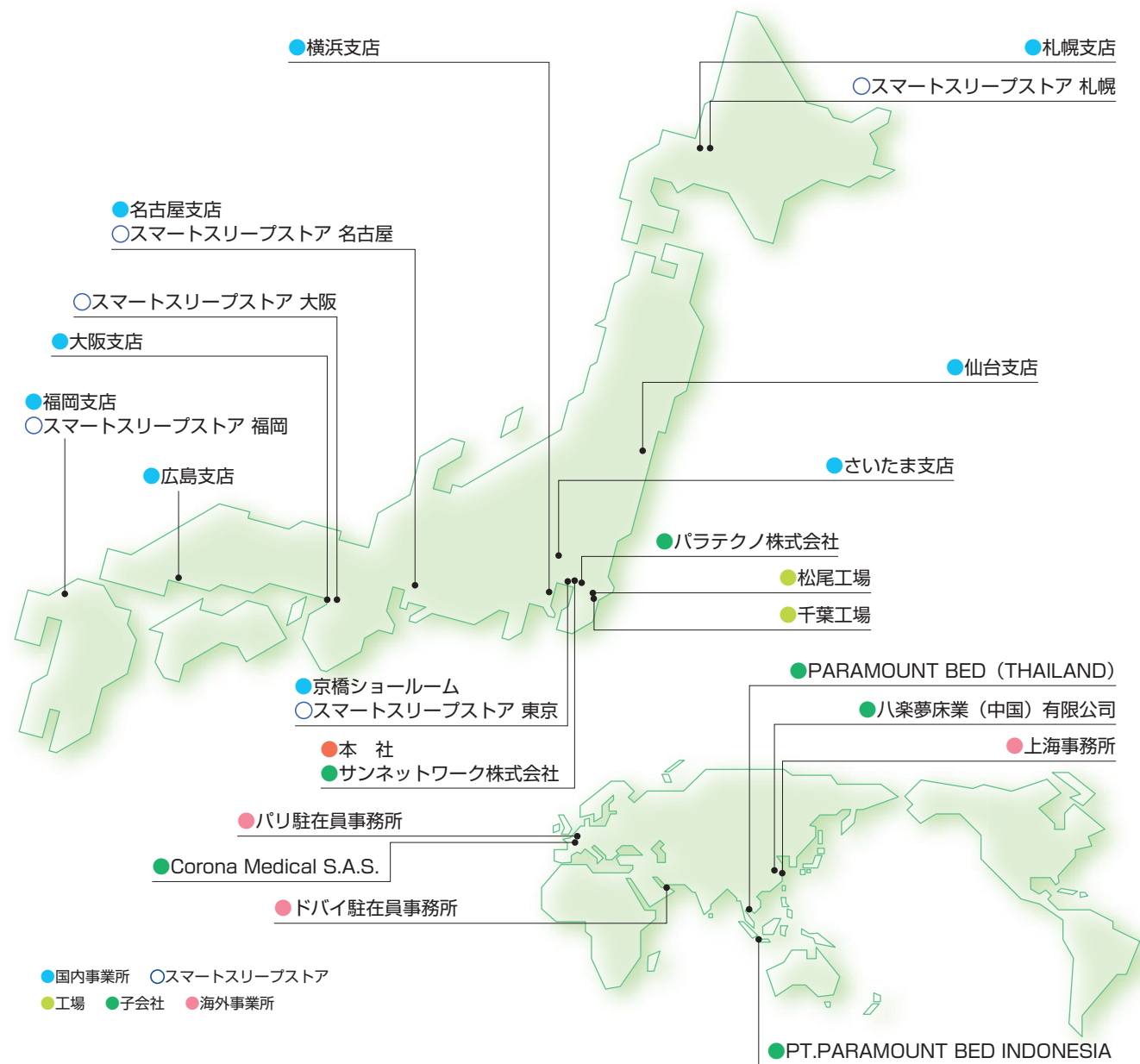
(注) 当社は自己株式1,130千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●株式の分布状況



●株価チャート





商 号	パラマウントベッド株式会社
本 社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 TEL：(03) 3648-1111 (大代)
設 立	1950年5月
資 本 金	65億9,132万円
従業員数	827名
事業内容	●医療用ベッド及びマットレス並びに病室用家具 など病棟看護製品の製造及び販売 ●在宅介護用ベッド及びマットレスの製造及び販売

● 役 員

代表取締役会長	木村憲司
代表取締役社長	木村恭介
専務取締役	木村秀
常務取締役	堀内雄
取締役	加藤忠治
取締役	坂本郁夫
取締役	佐藤泉
取締役	越田弘志
常勤監査役	古谷泰信
監査役	庫本康
監査役	池上悦次
監査役	岡ゆかり

【表紙模型 作者】

パラマウントベッド株式会社
技術本部設計部 柳原 健

開発の現場では電動ベッドが主流ですが、病院では手動式のベッドも
 現役で使われています。
 看護師さんにやさしく声をかけてもらいながら体を起こしてもらうと
 きなど、感謝せずにはいられない…そんな場面を形にしました。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。但し、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階) 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) 東京証券代行株式会社 本店 (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社本店及び全国各支店で行っております。
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009